

令和2年2月13日開会

令和2年第1回東松島市議会定例会

# 会派代表質問通告書

東松島市議会

《 会派代表質問 目次 》

令和2年第1回定例会

順位	会派名 代表氏名	件	名	頁
第1位	清風・公明 代表 五ノ井惣一郎	1	市政執行の所信に伺う	2, 3
第2位	清新会 代表 滝 健一	1	市政執行策について	4
第3位	市民クラブ 代表 佐藤 富夫	1	行財政経営の市長所信を問う	5, 6

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>清風・公明</p> <p>代表</p> <p>五ノ井</p> <p>惣一郎</p>	<p>1. 市政執行の所信に伺う</p>	<p>東日本大震災から9年、復旧・復興を目指し、市長は7つのマニフェストにより市民に約束してから4年目になる。その手腕でこれまで各種事業を進め、復興庁の交付金が終了する中で令和2年度の市政執行の所信を示されたが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市政運営の基本的考え方の中で、活力あるふるさと東松島の復興・発展に向け、最大限の取り組みを進めるとあるが、財源を含めて所信を問う。</p> <p>(2) 国および宮城県の動きとして、「復興・創生期間」を閣議決定し復興庁の設置を延長した。県において当面5年間、事業の規模を整理し、ハード事業・被災者の心身のケアおよび心の復興等の支援を継続し、所要の財源手当てを行うとあるが、延長5年間の本市が関わる今後の事業について。</p> <p>(3) 復興の完結については、奥松島運動公園・雨水排水対策・避難道路等のハード事業を全て完結させるとあるが、その裏付けとなる財源の確保は、十分されているのか。</p> <p>(4) 地方創生およびSDGsの推進についての中で「子育て支援策の拡充と女性の活躍」とあるが、以下の点を伺う。</p> <p>① 働いている女性が子供を出産しやすい環境は。</p> <p>② 出産後の職場復帰しやすい支援が整っているか。</p> <p>③ 学童保育を希望する児童が全員入所できる環境は。</p> <p>④ 親が安心して働けて、子供は安心していられる居場所が整った時、子育てしやすい街として周知され、人口減少を食い止める定住促進の施策にもつながると考えるが、いかがか。</p>

		<p>(5) 分野別施策について</p> <p>① 家屋のソーラーパネルによる太陽光発電等導入の促進と再生可能エネルギー等の地域電力の有効活用についての取り組みを伺う。</p> <p>② 子供達の植林や地域の美化活動についての取り組みを伺う。</p> <p>③ 新たに市内2カ所の病院に「救急医療体制確保補助金」の支援とあるが、それについて伺う。</p> <p>④ 本年もさらに学力向上に向け、その施策として学校教育指導員を配置する。さらに、コミュニティ・スクールの充実や地域ぐるみで子供たちを育てる環境づくり、不登校対策について、魅力ある学校づくり等、細やかな対応とあるが、それについて伺う。</p> <p>⑤ 「スポーツ健康都市」を宣言し、市民がスポーツに親しみ、健康を増進する機会の充実、さらには全国・東北大会レベルのスポーツ大会の誘致を図るとあるが、宿舎を含めた考えを伺う。</p> <p>⑥ 東洋経済新報社の住みよさランキング2019年「快適度」部門で、3年連続日本1位となった。少子高齢化が進む中で、大変な偉業である。本年も、その新たな施策を述べている。4年連続日本1位を目指し、移住・定住の施策を全国に大いに発信すべきである。その意気込みを伺う。</p> <p style="text-align: right;"><b>【答弁を求める者 市長、教育長】</b></p>
--	--	--

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>清新会</p> <p>代表</p> <p>滝健一</p>	<p>1. 市政執行策について</p>	<p>(1) 全寮制の私立高校「日本ウェルネス宮城高等学校」の誘致がいよいよ実現することになる。これに伴い、周辺の環境が著しく変化することになる。</p> <p>地方創生の推進に向けては大きな効用があり、小野地域の活性化には極めて大きな役割を果たすことになると思われる。</p> <p>こうした効用を十分に享受できるようにするためには、それなりの対策が必要不可欠である。今後の学校側と小野地区との関わり等に関するさまざまな課題が生じてくることは必至である。</p> <p>その課題解決に向けた取り組みを早期に図る必要があると思われるが、その考えは。</p> <p>(2) 分野別施策の始めに掲げる「郷土の自然を保全し、資源を大切にすまち」で地域の美化活動を評価しているが、本市内の用水路や道路ののり面に捨てられているごみが各所に見られる状況になっている。2020オリンピック、パラリンピックの関連事業等が開催されることもあり、また、本市が誇る自然環境や景観を次代に継承するためにも長期的展望に立った何か新しい施策や啓発の取り組みを考えるべきと思われるが、その考えは。</p> <p>(3) 「命を守る備えに地域で取り組む安全で安心なまちづくりを進めるための施策」で、消防団員の確保と士気高揚のため団員報酬の増を図るとあり、条例改正が可決されたところである。消防団の組織力強化には団員報酬の増はあまり作用していないのが現実ではないか。団員の確保や士気高揚のため、抜本的な方策を検討すべきと思われるが、その考えは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>市民クラブ</p> <p>代表</p> <p>佐藤 富夫</p>	<p>1. 行財政経営の市長所信を問う</p>	<p>(1) 復興から平時への移行段階により、令和2年度一般会計予算は総額で前年度比61億150万円の減である。市長は予算編成に当たり、かなり苦心したと聞いているが、その行財政経営に工夫された概要について。</p> <p>(2) 国からの予算確保について 市長会において復興加速化の第8次提言に関係して本市から複数の財源要望をしたとも聞いているが、本市の行財政経営方針にどのように反映されているかの概要について。</p> <p>(3) 今後の財源確保について 本市には20ばかりの基金がある。財政調整基金を除いて目的基金であるので割愛するが、平成30年度に年度末残高約14億9,700万円のものが令和2年度当初で約6億1,100万円となっており、じり貧状態にある。私の感覚では最低でも10億円以上と思っているが、市長の所見と確保の今後について。</p> <p>(4) かつて旧矢本町時代には松島基地との共存共栄から協力協調の時代を経てきた。市長の言う共存共栄の意義について。</p> <p>(5) 三陸自動車道矢本パーキングエリアの道の駅構想にも触れられているが、許認可と財源確保等々ハードルは高い。その実現性について。</p> <p>(6) 市の組織機構の改革について</p> <p>① 市政施行後、間もなく部、課、班制で進んできた。今回の機構改革についての所信は。以前、前市長時代にも組織改革による市民の戸惑いがあった。市民ファーストの観点から、スムーズな移行を望むが、所見は。</p>

② 働き方改革とのマッチングがあれば時宜を得た改革の一つと考えられる。職員のモチベーションの啓発方策と人事考課について。

(7) 市長は財政の健全性を確保しながら、市政運営を推進すると強調している。行財政改革もその大きな要素である。

本市の第2次行政改革大綱は平成25年度から令和2年度で最終年度となる。新たな第3次スタートへのビジョンについてと、いつの時点で大綱を示すか。

【答弁を求める者 市長】